

学生用

遠隔授業の受講の仕方

重要：各時限の開始・終了前後の時間帯は
manabaにアクセスしないこと

- 事前の確認事項：(1) 遠隔授業の準備の注意事項、(2) 接続の事前確認、(3) 推奨される機器と受信環境
- 遠隔授業で使うツール：(1) 学習支援システム manaba
(2) Meetingシステム zoom
- 注意事項

受講に当たり、重要な情報です。精読して下さい。

各学部、様々な形で遠隔授業が導入され、学内のインターネットや提供するサービスの利用者が劇的に増加することが予想されており、接続障害が発生することが懸念されています。インターネットを通じた遠隔授業を良い環境で受講できるよう、みなさんの協力をお願いします。

1. 事前の確認事項

(1) 授業準備の注意事項

- ・ 遠隔授業のための情報や資料は manaba に掲載されます。印刷物は配付しません。
例えば、課題提出型の授業の課題や参考文献、オンライン型の授業に用いる zoom の会議室情報、オンデマンド型授業で用いる映像や音声の教材の情報は、manaba を通じて提供されます。印刷は、必要に応じて各自でお願いします。
=> manaba の利用者が集中するとアクセス障害が発生することが見込まれるため、授業についての情報取得や課題の提出を、各時限の開始・終了前後の時間帯や締切直前にはしないこと。時間の余裕を持って対応して下さい。
=> manaba をはじめ各種サービスにアクセスできない場合、その場で繰り返しアクセスせず、時間をあけて、改めてアクセスして下さい。

(2) 接続の事前確認

- ・ 遠隔授業は、インターネットの接続と授業スタイルに適応する機器や受信環境が必要です。一部不便かもしれませんが、スマートフォンでも受信できます。
事前の確認作業として、授業の受講に使う予定の機器で下記を確認して下さい。
① manaba に掲出されているアンケートに回答したり、授業資料をダウンロードして

読むことができること。

②動画配信（youtube など）を問題なく視聴できること。

③Meeting サービス「zoom」をインストールして、自分の顔を画面に映すことができること。パソコンの場合、声を出してみて、画面左下のマイクアイコンが反応すること。

※ イヤフォンを利用すると音量の確保や外部の音を遮断できて便利です。100 円均一のもので十分です。

(3) 推奨される機器とネット環境

- ・法文学部では、遠隔授業を受講するために、自分用のパソコン（タブレットを含む）と「常時無制限」での接続を確保することを推奨します。
- ・なお、友人と一緒に、まして集まって受講することは「蜜」を形成しますので、残念ですが、勧められません。

遠隔講義の受講自体に支障があったり、たまにつながらない場合があったとしても、そのことにより、成績評価上不利に扱うことはありません。速やかに、担当教員と相談して下さい。

2. 遠隔授業で使うツール

(1) 「標準ツール」

法文学部では、教員向けに授業で用いるツールとして「標準ツール」を設定しており、教員は、それを中心に教材の作成・提供や授業運営をしていきます。

※ 科目の特徴や授業運営上の便宜から、それ以外のツールを使うこともありますので、授業担当の先生方の指示に従って対応して下さい。

「標準ツール」を使う場合、みなさんの側では、下記のツールを使うことになります。

- ・授業情報の発信／課題提出など：manaba
- ・映像受信：それぞれの PC やスマートフォンのブラウザや専用受信ソフト。
- ・オンライン授業の参加：zoom

(2) zoon での授業参加について

リアルタイム・双方向で実施する講義や演習の標準ツールは、zoom です。次の手順で授業に参加します。

- ・授業に参加するための URL 情報やミーティング ID、パスワードの情報が、各科目で manaba を通じて提供されます。この情報は担当教員ごと、場合によっては授業毎に別々です。授業開始時に慌てないように、余裕を持って、事前に情報を獲得して下さい。
- ・授業に参加するときに、その URL にアクセスするか、zoom のアプリケーションを開いて「ミーティングに参加」をクリックして、求められた情報を入力します。

参 考：<https://bit.ly/2z9528H>



- ・ **マイク操作は重要**です。

会議室に入ったら、左下のマイクアイコンを見てミュート状態を確認して下さい。

=>比較的人数の多い講義を受講する場合など、聴き手になる授業ではマイクを

ミュートにしておく（**厳守**）。（マイクアイコンに「/」がついていればOK）。指名されたときにそれをクリックしてミュートを外して発言し、やりとりを終えたら再びミュートにする。

⇒演習などでの意見交換や討論をする場合は、ミュートを外したままにしてやりとりする。（ただし、マイクが拾った音で、画面が変わってしまうことがあるので要注意。周りで音がしている中で受講する場合、発言しないときはミュートにしておく方がよい場合があります。）

（3）その他

このほか授業の事情に応じて使われるツールがあるかもしれませんが、授業担当の先生の指示の下で対応して下さい。

3. 注意事項

- ・授業は、時間割通りに展開されます。同時双方向のオンライン型授業はもちろん、オンデマンド型や課題提出を中心とする授業であっても、それに合わせて、受講できる環境を確保して下さい。
- ・以下は改めて厳守して下さい。
 - ⇒大学から得た個人情報（学籍番号や鹿大IDなど）を漏洩させない。
 - ⇒大学から得たURL情報やパスワード、授業などで得たファイルや映像のスクリーン・ショット、映像・録音などをみだりに漏洩させない。
- ・何らかの事情で大学内のネットワークを利用する場合、遊興目的での動画視聴やゲーム等の継続的な通信を行う利用をひかえて下さい。

※ 4月20日（月）から5月6日（水）までは、学生は大学に来る必要はありません。

5月7日以降、何らかの事情で大学に来て学内のWi-Fiを利用する場合があるとおもいますが、これらの行為によって無線LANのアクセス・ポイントの負荷が増えて、やむを得ず大学で授業動画の視聴をしたり、オンライン授業に参加している学生が受講できなくなるなどの支障が出る可能性があるためです。

4. お願い

突然の事態ですから、みなさんも準備が整わないことや、うまく受信できないなどの事態が発生するなど不安になることもあると思います。そういう時でも、成績評価上不利に扱うことはありませんし、できる限りの手を尽くしますので、何かあったときには、慌てることなく、担任や授業担当の先生方に速やかに相談して下さい。

また、我々教員も、通常授業と変わらず学問の「楽しさ」や「深さ」を提供できるよう全力を尽くします。是非、状況に負けずがっぶり四つで取り組んで下さい。

充実した授業を成立させるために、学生のみなさんの理解と協力をお願いします。